

3月号

巣立ち

校長 桐ヶ谷 淳子

学校 だより



大和市立草柳小学校
大和中央3-6-1

令和4年度も残すところあと1か月となりました。2月は各地で大雪の便りが聞かれましたが、最近では、吹く風に春の気配を感じるようになりました。

今年度を振り返ってみると、修学旅行やキャンプ、遠足などの学校行事は、ほぼ予定通り実施できました。遠足でおいしそうなお弁当を食べる姿や、運動会の表現で練習の成果を十分に発揮する姿を見て、心から嬉しいと感じました。コロナ禍を経て、あらためて行事の大切さを痛感した1年でした。2月の後半はインフルエンザによる学級閉鎖がありましたが、学習発表会には、多くの保護者の方にご来校いただきました。音読劇や楽器の演奏、体育の実技やけん玉、コマ回しなど、それぞれの学年およびたけのこ級が、工夫を凝らして日頃の学習の成果を発表しました。一生懸命な子どもたちの姿に、1年間の成長を感じられた方も多かったことと思います。

コロナが流行してからまる3年が過ぎました。当初は一斉臨時休業や分散登校など、学校がかつて経験したことのない事態が続ぎ、先の見えない不安な日々を送りました。感染対策と教育活動の両立に苦慮してきましたが、今度の5月には感染法上の位置づけも5類に移行するなど、withコロナも新たな局面を迎えます。今後も県や市の方針を踏まえながら、子どもたちが楽しい学校生活を送れるよう、教育課程を進めていきたいと考えています。

修了式まで残り1か月。子どもたちが登校するのは17日です。1年間のまとめと、進級に向けての心の準備期間として、元気に楽しい学校生活を送ってほしいと思っています。

5年生は、2月13日にいじめ防止の出前授業がありました。宮本国際法律事務所の真下麻里子弁護士にお越しいただき、学年全体でお話を聞きました。みんなで事例を読んだ後、先生が質問し、子どもたちは自分の意見を発表したり、友だちの意見を聞いたりしました。授業後の振り返りでは、これからの自分たちにできること、すべきこととして「自分が発した言葉に責任を持つ。」「やっていいことと悪いことの区別をつける。」「相手の気持ちを考える。」などの意見が見られました。真下先生の話をも自分事として捉えていることが感じられました。5年生には、来年は最上級生になるという自覚を持って、3学期のまとめをしてほしいと思います。

6年生はあと1か月で卒業です。義務教育9年間の三分の二が終了します。3月は中学校進学に向けての大切な準備期間です。標準服やジャージなどの用意とともに、心の準備もしなくてはなりません。4月からは、50分の授業時間や放課後の部活動、定期テストなど小学校とは違う学校生活がスタートします。朝会で、「3年後みなさんの中には、高校などへの進学はせずに、社会に出て働く道を選ぶ人もいます。」という話をしました。中学校では自分の進路について考える機会も増えます。あっという間の3年間ですが、義務教育のまとめとして、充実した日々を送ることを願っています。

3月20日の卒業式は、草柳小学校を巣立っていく66名の子どもたちを、温かい気持ちで送り出したいと思います。

ご卒業おめでとうございます。